

- 問1 二千年札の裏面に描かれている、平安時代の王朝文学の傑作である『源氏物語』の作者と、当時の貴族の住居様式の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 清少納言 — 書院造 2. 清少納言 — 寝殿造 3. 紫式部 — 寝殿造 4. 紫式部 — 書院造
-
- 問2 8世紀末の日本において、それまでの奈良の地にあった都から、現在の京都府にあたる地へ都を移し、律令政治の立て直しを図った人物は誰か。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 天智天皇 2. 推古天皇 3. 聖武天皇 4. 桓武天皇
-
- 問3 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。 2. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。 3. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。 4. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。
-
- 問4 10世紀後半、唐が滅亡した後に続いた分裂状態の中国を再び統一し、日本が平安時代の頃に栄えた王朝を何というか、名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 明 2. 元 3. 宋 4. 隋
-
- 問5 10世紀から12世紀にかけて、武士が地方の勢力から国家の政治を動かす存在へと成長した過程を説明した次の記述のうち、最も古い時期に起きた出来事はどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 平将門が関東において反乱を起こし、自ら「新皇」と称して朝廷に抵抗した。 2. 源義家が東北地方で起きた戦乱を平定し、東国の武士との結びつきを強めた。 3. 源頼朝が征夷大将軍に任命され、鎌倉に武士独自の政権である幕府を開いた。 4. 平清盛が武士として初めて太政大臣に任命され、一族で朝廷の要職を独占した。
-
- 問6 平安時代中期に藤原道長が摂政に就任したことで全盛期を迎えた、藤原氏が天皇の代理や補佐として実権を握る政治形態を何といいますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 院政 2. 摂関政治 3. 親政 4. 幕府政治
-
- 問7 平安時代中期に成立した国風文化において、住居や絵画などが「日本的」なものと変化していった背景として、当時の社会状況に基づいた最も適切な理由はどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 律令制が強化されたことで、国家が主導して日本独自の伝統的な神道の文化を奨励したため。 2. 武士が政治の実権を握り、実用性を重視して中国風の複雑な礼儀や様式を簡略化したため。 3. 公的な遣唐使の派遣が止まったことで、それまで受容した大陸文化を日本の貴族の生活感覚に適合させる動きが進んだため。 4. 浄土信仰が庶民の間に急速に広まり、仏教的な平等の考え方が文化のあらゆる面に反映されたため。
-
- 問8 平安時代の中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化の名称と、その時期に広く使われるようになった文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 国風文化 — 仮名文字 2. 東山文化 — 漢字 3. 元禄文化 — 仮名文字 4. 天平文化 — 漢字
-
- 問9 平安時代中期から後期にかけて、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂や、奥州藤原氏が建立した中尊寺金色堂など、華麗な装飾を施した阿弥陀堂が各地に作られました。これらの建築物が造営された当時の社会的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 武士が政治の実権を握り始めたため、力強さや素朴さを重んじる新しい仏教の形を象徴する建物として作られた。 2. 釈迦の教えが衰えるという末法思想の影響で社会不安が広がり、阿弥陀如来にすがって死後の救済を求める浄土信仰が普及したため。 3. 仏教の力で国家の安泰を祈願するため、聖武天皇が国分寺を全国に配置した一環として造営された。 4. 唐の先進的な文化を積極的に取り入れるため、遣唐使が持ち帰った最新の建築様式を模倣して作られた。
-
- 問10 院政を行っている上皇が、自らの命令を伝えるために発した公的な文書や、その政治の拠点となった組織の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 下知状（げちじょう）と政所 2. 奉書（ほうしょ）と六波羅探題 3. 院宣（いんげん）と院庁（いんのちよう） 4. 御教書（みことり）と問注所
-
- 問11 山口県にある防府天満宮などの神社で「学問の神様」として広く信仰されている菅原道真が、894年に朝廷に対して行った提案として正しいものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. 武士の力を抑えるために、院政を開始すること 2. 唐の衰退などを理由に、遣唐使を停止すること 3. 仏教による国づくりを目指し、東大寺を建立すること 4. 新しい都として、平城京を建設すること
-
- 問12 平安時代末期、平清盛が広島県の厳島神社を大規模に整備した背景には、海外との貿易を重視したことがあります。このとき清盛が航海の安全を祈願して行った貿易の名称と、社殿に採用された当時の貴族の住居様式として正しい組み合わせはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 日宋貿易 ・ 寝殿造 2. 日宋貿易 ・ 書院造 3. 日明貿易 ・ 寝殿造 4. 日明貿易 ・ 書院造
-
- 問13 平安時代初期に唐から帰国した最澄が日本に伝え、滋賀県と京都府の境に位置する比叡山延暦寺を拠点として広まった宗派を選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 浄土宗 2. 法相宗 3. 真言宗 4. 天台宗
-
- 問14 平安時代中期、藤原頼通が宇治に平等院鳳凰堂を造営した時期は、藤原氏が天皇の摂政や関白として実権を握る摂関政治が安定していました。しかしその後、平安時代末期になると、天皇が位を退いた後も「上皇」となって政治の実権を握り続けるという、摂関政治とは異なる統治形態が現れました。この統治形態を何といいますか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 院政 2. 執権政治 3. 武家政治 4. 親政

答え合わせ・解説

問1	答え 3 紫式部 ― 寝殿造	平安時代中期、遣唐使が廃止されたことで日本の風土や好みに合わせた「国風文化」が発達しました。その中で、紫式部は宮廷を舞台にした長編小説『源氏物語』を執筆し、当時の貴族たちは池や庭園を囲むように建物を配置する「寝殿造」という住居に暮らしていました。二千年札にはこの物語の一場面と作者の肖像が描かれています。
問2	答え 4 桓武天皇	794年に、都を長岡京から平安京（現在の京都市）へと移し、平安時代を切り開きました。当時、政治に強く介入するようになっていた奈良の仏教勢力から離れ、天皇を中心とする政治の仕組みを再構築することが大きな目的でした。
問3	答え 2 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。	院政は、藤原氏が摂政や関白として権力を独占する「摂関政治」に対抗し、天皇家が政治の主導権を取り戻すために行われました。上皇は「院庁」という独自の役所を置き、北面の武士を組織して警護にあたらせるなど、従来の官僚組織とは異なるルートで政治を動かしました。藤原氏の婚姻政策は摂関政治の特徴であり、国分寺の建立は奈良時代の聖武天皇による政策です。
問4	答え 3 宋	唐の滅亡後、五代十国と呼ばれた約50年の分裂時代を経て、960年に建国された王朝です。日本では藤原道長らが活躍した平安時代中期から後期に該当し、公式な使節の派遣は途絶えていたものの、民間貿易を通じて日本に大きな影響を与えました。
問5	答え 1 平将門が関東において反乱を起こし、自ら「新皇」と称して朝廷に抵抗した。	武士が歴史の表舞台に登場する大きな契機となったのは10世紀半ばの出来事です。関東では平将門の乱、瀬戸内海では藤原純友の乱が発生し、朝廷はこれらの反乱を鎮圧するために他の武士の力を借りる必要がありました。これにより武士の軍勢力が中央でも認められるようになりました。その後、11世紀後半に源義家が東北の戦乱（後三年の役など）を平定し、12世紀後半に平清盛が政権を握り、1192年に源頼朝が鎌倉幕府を成立させるという流れになります。
問6	答え 2 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少のときは「摂政」、成人してからは「関白」という官職に就くことで政治の実権を握りました。道長とその子である頼通の時代にその力は絶頂に達し、娘を次々と天皇の后（きさき）にすることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として強い影響力を行使しました。
問7	答え 3 公的な遣唐使の派遣が止まったことで、それまで受容した大陸文化を日本の貴族の生活感覚に適合させる動きが進んだため。	遣唐使の廃止によって大陸との公的な交流が途絶えた結果、それまで模倣の対象であった唐の文化をそのまま受け入れるのではなく、日本の気候や日本人の美意識、貴族の日常生活にふさわしい形へと改良・洗練させる傾向が生まれました。これが、寝殿造と呼ばれる住居様式や大和絵、かな文字の発展といった日本独自の「国風文化」の形成につながりました。
問8	答え 1 国風文化 ― 仮名文字	894年に遣唐使が停止された後、それまでの中央集権的な唐風の文化から、日本の気候や日本人の感覚に合った「国風文化」が発展しました。この時期に漢字を崩して作られた「仮名文字」が発明されたことで、和歌や物語などの文学を通じて、日本人の繊細な感情が自由に表現できるようになりました。
問9	答え 2 釈迦の教えが衰えるという末法思想の影響で社会不安が広がり、阿弥陀如来にすがって死後の救済を求める浄土信仰が普及したため。	平安時代中期には、釈迦の死から時間が経過して正しい教えが廃れるとされる「末法」の時代が来ると信じられ、人々の間に不安が広がりました。これを受けて、念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ行くことを願う浄土信仰が貴族から民衆へと広まりました。平等院鳳凰堂や中尊寺金色堂は、その理想の世界を地上に再現しようとしたものです。
問10	答え 3 院宣（いんぜん）と院庁（いんのちょう）	上皇は「院庁」という私的な役所を設置し、そこから出される「院宣」という命令を通じて政治を行いました。これにより、律令制度で定められた太政官などの公的な政治ルートを通さずに、上皇が直接的に意思決定を行うことが可能になりました。
問11	答え 2 唐の衰退などを理由に、遣唐使を停止すること	菅原道真は、唐（中国）の政治の乱れや往復の航海の危険性を理由に、遣唐使の派遣を停止するよう建議しました。これが認められて以降、日本独自の気候や風土、日本人の感性に合った「国風文化」が大きく発展することとなりました。
問12	答え 1 日宋貿易 ・ 寝殿造	平清盛は、大輪田泊（現在の神戸市）の修築などを行い、中国の宋との間で行う「日宋貿易」を積極的に推進しました。厳島神社は瀬戸内海の航路上の要所に位置していたため、貿易の安全を祈願する対象として重要視されました。その際、当時の貴族の住居様式である「寝殿造」を社殿建築に取り入れたため、海上に浮かぶような華麗で独特な空間が形成されました。書院造は室町時代以降に発達した様式であり、日明貿易は足利義満の時代に始まったものであるため、時代背景が異なります。
問13	答え 4 天台宗	最澄は、新しい仏教を学ぶために唐へ渡り、帰国後に天台宗を日本に広めました。比叡山に建立された延暦寺は、その後の鎌倉新仏教の開祖たちが修行に訪れるなど、日本仏教の母山とも称される重要な拠点となりました。
問14	答え 1 院政	藤原氏が娘を天皇のきさきにして、生まれた子を天皇に立てることで外戚（母方の親戚）として権力を振るったのが摂関政治です。これに対し、白河天皇が位を譲って上皇となった後も、自身の独自の役所（院庁）を置いて政治を主導したのが院政の始まりです。これにより、藤原氏の影響力を抑え、皇室が主導権を取り戻そうとしました。